

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学医学部総合内科・総合診療医センターでは、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 6 月

福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療医センター

講師・會田哲朗

■ 研究課題名

血液培養ボトル供給不足が菌血症診断、臨床アウトカム、血液培養適応に及ぼす影響：
多施設準実験研究

■ 研究期間

2026 年 6 月(審査終了後より) ～ 2028 年 3 月 31 日

■ 研究の目的・意義

本研究では、致死的な感染症の一つである菌血症の診断に最も重要な血液培養ボトルが 2024 年 7 月から 9 月に世界中で供給不足になったことを受けて、国内の教育病院である聖マリアンナ医科大学、飯塚病院、沖縄県立中部病院では血液培養の採取方法を変更するなど現場の診療に大きな影響を与えました。一方で、福島県立医科大学、白河厚生総合病院ではボトル供給不足の影響を受けなかった企業の血液培養ボトルを使用していたため通常通りの診療が行われました。この供給不足が菌血症・肺炎で入院した患者様にどのような影響を与えたかは世界的にまだわかっていません。供給不足に至った病院は過去の文献も踏まえ、血液培養ボトルを 1 セット採取にしたり、採取をする患者を選択したりせざるを得ませんでした。このような診療の影響を測定し、比較することで今後の菌血症・肺炎診療の課題を探索し、更なる診療の向上を目指します。

■ 研究対象となる方

2023 年 7 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までの期間に救急を含む外来を受診し福島県立医科大学附属病院、白河厚生総合病院、聖マリアンナ医科大学、飯塚病院、沖縄県立中部病院に入院した 18 歳以上の菌血症・肺炎の患者様です。

■ 研究の方法

- ・対象となる方の診療情報から、入院した時の病名、年齢や性別、基礎疾患などの背景因子、病気の重症度、血液検査、細菌学的検査、治療内容、治療後どのような転機をたどられたか、等の項目についてデータを収集します。
- ・調査は医療機関に対して行われますので、対象となる方に、研究者が連絡して情報を収集することはありません。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 7 月 1 日

■ 研究組織

この研究は日本の教育病院を中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。

研究代表者	福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療医センター 講師・會田 哲朗
共同研究機関 研究責任者	・白河厚生総合病院 総合診療科 教授 高田 俊彦 ・聖マリアンナ医科大学 総合診療内科 教授 大平 善之 ・飯塚病院 総合内科 廣瀬 光基 ・沖縄県立中部病院 感染症内科 部長 椎木 創一

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

当院の診療情報は他の機関へ提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療医センター 担当： 會田哲朗

電話：024-547-1515

e-mail：tetsuro@fmu.ac.jp